

連携マッチングエントリーシート

企業名 団体名	稲穂フィッシュファーム		
所在地	鹿沼市榆木町405-6	連絡先	
		部署名	
業種	卸売業, 小売業	担当者名	宇井 一哲
		URL	https://fish-farm-544.business.site/
		TEL	050-3174-4174
		E-mail	inahofish@gmail.com
事業概要	めだかの繁殖・販売、「アクアポニックス」の普及啓発		

<< 連携希望事業内容 >>

事業名	「アクアポニックス」(水産養殖×水耕栽培⇒次世代型循環型農業)の事業化
テーマ	販路開拓
求める連携先・協力先	ビジネスパートナー

【事業概要】

【やりたいこと・作りたいもの】

- ・水産養殖と水耕栽培を同時に行う「アクアポニックス」を事業化したい。
- ・「アクアポニックス」は水産養殖「アクアカルチャー」と水耕栽培「ハイドロポニックス」を掛け合わせた造語である。魚の排泄物を微生物が分解し、植物がそれを栄養として吸収、浄化された水が再び魚の水槽へと戻る、生産性と環境配慮の両立ができるシステムで、米国やオーストラリアなどで広まっている。
- ・家庭用の「アクアポニックス」のキット(野菜の水耕栽培と観賞用のメダカの育成を組み合わせたキット)を製作し販売していきたい。将来的には「アクアポニックス」による農業に取り組み事業化を図りたい。

【自社リソースと今までの取組状況】

- ・令和3年、改良めだかの専門店として創業。現在、鹿沼市榆木町にてめだかの繁殖・販売業を営む。
- ・知人がニシキゴイや金魚が入った水槽で、リーフレタスやパセリなどの野菜や食用の花などを育てていることに触発され、自身も「アクアポニックス」に取り組みすることとした。
- ・石材関連の事業者と連携し、大谷石を活用した「大谷石アクアポニックス農法」の研究にも取り組み始めた。

【問題点・課題】

- ・「アクアポニックス」は、野菜と魚を一緒に育てる、人にも地球にもやさしい農法として一部では評価されつつあるが、認知度はまだまだ低い。
- ・現在は各種イベントへの出店やSNSにより「アクアポニックス」をPRしているが、興味を持っていただく方はいるものの、販売にはなかなか結びつかない。
- ・「アクアポニックス」の認知度向上、販路開拓に向けて、価値を共有できるビジネスパートナーと連携することが必要であると感じている。

【事業の状況】

 アイデア段階

 試作・研究段階

 事業化段階

 販路開拓段階